

一般



地球温暖化に対する対応

白松 光好 (みどり 21)

動画は
こちらから



地球温暖化への対応について菊川市の取組の現状を質問した。

Q 第3次菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・菊川市気候変動適応計画に則った具体的な対応は。

A 地球温暖化対策として家庭用太陽光発電設備や蓄電池の設置などに補助金を交付している。

Q 同計画中の緩和策「地球環境の整備・吸収源対策」でのバイオ炭などの対策の現状は。

A ふじのくにフロンティア地域循環共生圏形成事業の一環として、倉沢地区の荒廃茶園で伐根茶樹の炭を土壌改良剤として農地に活用し、酸性土壌を中和し、レモンへの栽培転換を行っている。この実証実験により、約16・5トンの炭素貯留につながった。

Q 同計画中の緩和策「循環型社会の形成」で食品残渣をバイオマス発電で活用するリサイクルの現状は。



株式会社八ヶ代造園（袋井市）の早生樹ユーカリ園場

A 現在西方地区の鈴与菊川バイオガスプラントでは学校給食センター、市立総合病院、民間企業から排出される食品残渣を受け入れ発電をしている。発生したエネルギーや二酸化炭素は隣接するハウスのトマトやアスパラガスの生育に役立て、栽培した作物は学校給食に提供されている。

Q 森林の二酸化炭素吸収量を増やすには森林整備計画に早生樹を明記する必要があるが菊川市の見解は。

A 静岡県が定める天竜地域森林計画には早生樹の記載は無いが、早生樹を加えることも検討の一つとして、引き続き情報収集に努める。

一般



私のこれからノートについて

東 和子 (みどり 21)

動画は
こちらから



厚生労働省が平成30年3月に公表した人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発の報告では「人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から患者・家族に適切な情報の提供と説明がなされた上で、本人による意思決定を基本として行われることが重要である」と記載されている。

第3次菊川市総合計画では「高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、元気に安心していきいきと暮らし続けることができよう、健康づくり事業や介護予防事業への参加を促進します」と記載されている。

Q 時代とともに社会情勢の変化に合わせて「私のこれからノート」の役割がさらに高まると考えるが、今後の対応は。

A 「私のこれからノート」は、医師や歯科医師、薬剤師、リハビリ専門職、看護師、ケアマネジャーなどの協働により、現場で働く方々の意見を反映して作成した。高齢化と核家族化

が進行するなか、自分自身が大切にしたいことや希望する医療・介護について、家族、医療・介護チームと事前に話し合い、共有することの重要性も増していく。中身を埋めることが目的ではなく、家族など大切な人と話し合うためのきっかけづくりと捉えている。今後も社会情勢を踏まえ、専門職の意見や市民の声を聞きながら掲載内容を検討するとともに、「私のこれからノート」を活用するきっかけづくりとして、本年度作成した概要版で広く周知することに加え、体験会や相談窓口で意義を伝えながら配布するなどの周知啓発に取り組んでいく。

